

コンクリート供試体の
正確な品質管理のために

製品名
品質証明シール™
Ver.2

NETIS 登録番号
CB-130013-VE

NETIS
事後評価実施済み技術

品質証明シール Ver.2は平成27年4月24日付「VE」評価を取得しました。

品質証明シールの 目的について

発注機関より、レディーミクストコンクリートの品質管理が求められています。そのため、コンクリート供試体作成時には、『発注者・工事名・コンクリート規格・打設場所・立会者等』を明記した、供試体確認版(圧縮強度試験に影響を与えないもの)を用いて、資料採取時のものと同一かを確認することが必要とされています。

- 品質証明シールは、当該建設工事に用いられるコンクリートの品質を証明するために、コンクリート供試体に貼着し、品質管理資料向上のために用います。
- 品質証明シールは、当該建設工事に用いられたコンクリート供試体の取り違い、誤混入防止に対応します。

品質証明シールの 技術評価について

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部により^(※1)技術評価委員会を設置し、4大学(岐阜大学・名古屋大学・名古屋工業大学・三重大学)で共通試験を実施し、以下の通りの評価を得ました。

- ①品質証明シールver.2は、コンクリート供試体の圧縮試験(圧縮強度)に影響を与えません。
- ②品質証明シールver.2は、コンクリート供試体に確実に貼着し、視認性に優れています。
- ③品質証明シールver.2は、水中養生浸漬13週91日の耐水性能を有します。

(※1) 技術評価委員会の委員の構成

委員長 ● 中村 光 (名古屋大学大学院 教授)
委員 ● 梅原 秀哲 (名古屋工業大学 教授)
畑中 重光 (三重大学工学部 教授)
六郷 恵哲 (岐阜大学工学部 教授)



技術評価機関

一般社団法人

社会基盤技術評価支援機構・中部

愛知県名古屋市千種区若水 2-3-11

TEL:052-762-7200

<http://www.criies.jp/>

製造元

技建開発株式会社

長野県飯田市北方 1313-2

TEL:0265-52-0511

<http://www.gkc.co.jp/>

販売元

一般社団法人

中部地域づくり協会 業務部

愛知県名古屋市中区丸の内 3-5-10

TEL:052-962-9086

<http://www.ckknet.jp/>

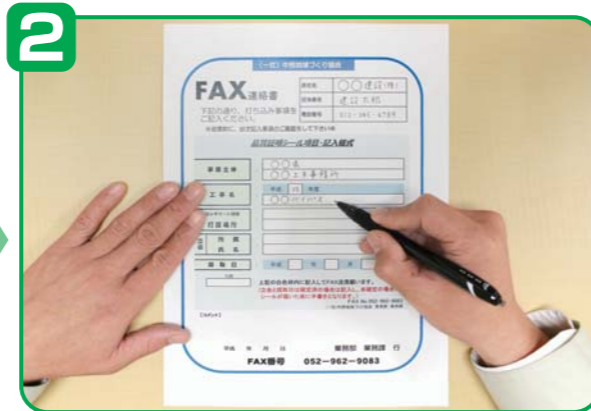
品質証明シール™ ver.2 の 使用手順

写真の手順によって作業を進めてください。

品質証明シールVer.2は、必要事項を印字してお届けする製品です。



1 中部地域づくり協会のホームページから入力様式を入力します。
※お近くの中部地域づくり協会各支所へお問い合わせください。



2 入力様式に必要事項を記入します。手書き、パソコン入力のいずれでも記入することが出来ます。未確定事項は空白として下さい。



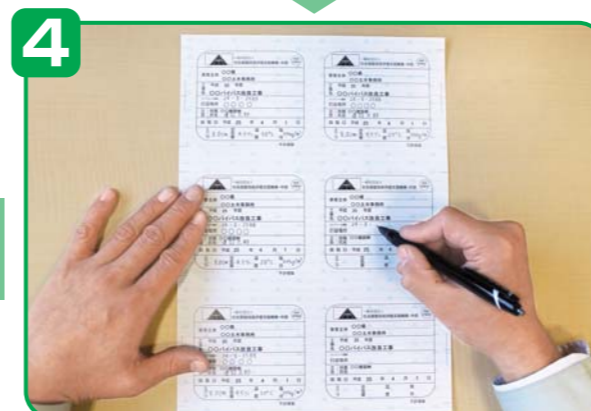
3 FAX又は電子メールで中部地域づくり協会へ入力情報を送信します。



6 記入面が型枠の内側に接するように、型枠の上縁から1cm～3cmの位置にシールを合わせ指で固定し、コンクリートを流し込みます。



5 透明樹脂フィルムをシールに合わせ接着し、記載面を被覆します。



4 中部地域づくり協会から必要事項が印字されたものが送付されます。現場において、現場記入項目をボールペン等で記入します。

NETIS番号末尾記号が「VE」の技術とは…

NETIS登録番号
CB-130013-VE =事後評価実施済み技術

末尾記号「VE」の技術とは、国土交通省工事において、現場での活用で得られた5件以上のデータに基づく活用効果評価の結果、安定的な効果が認められた技術です。

VE技術の優位性

- ①国土交通省工事で、VE技術を新技術活用計画書により施工提案すると工事成績評定に加点されます。加点は、主任技術評価官で2点又は1点、実加点は0.8点又は0.4点です。
※「VE」技術実施による加点には、**新技術活用計画書を提出すればよく、実施報告書の提出は要しません。**
- ②総合評価落札方式における技術提案のテーマが、コンクリートの品質管理に関するものである場合、VE技術の活用を提案すると評価の対象となることがあります。
“品質証明シールVer.2”は平成27年4月24日付「VE」評価を取得しました。

工事成績評定への加点

「VE」技術は実施報告書の提出を要しません。

新技術活用計画書・実施報告書

| | | | | | |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| 新技術名称 | | | | NETIS番号 | |
| 比較する従来技術 | | | | | |
| 登録局名 | 事務所名 | 受注者名 | | | |
| 工事名 | 契約額(円) | | | | |
| 活用等の型 | <input type="checkbox"/> 部分申請型(契約書別添) | <input type="checkbox"/> 部分申請型(契約書別添) | <input type="checkbox"/> 全法者別添型 | <input type="checkbox"/> 全法者別添型 | <input type="checkbox"/> フィールド型併用 |
| 工事期間 | 自 年 月 日 | 至 年 月 日 | 新技術施工期間 | 自 年 月 日 | 至 年 月 日 |
| 施工場所 | | | | | |
| 内容 | | | | | |
| 対象数量 | | | | | |
| 新技術使用箇所 | | | | | |
| 現場施工条件 | 現場条件 | 周辺状況(病院、学校、鉄道の有無等) | 自然環境(騒音、振動、水質等) | | |
| 施工上で重大な障害や問題が生じましたか。 | <input type="checkbox"/> 無 | 障害の内容 | <input type="checkbox"/> 有 | 作業の種類 | <input type="checkbox"/> 地上作業 <input type="checkbox"/> 水上作業 <input type="checkbox"/> 地下作業 <input type="checkbox"/> 水中作業 <input type="checkbox"/> 箇所作業 |
| 活用理由の該当項目にチェック | コメント | | | | |
| 経済性 | | | | | |
| 工程 | | | | | |
| 品質・出来形 | | | | | |
| 安全性 | | | | | |
| 施工性 | | | | | |
| 環境 | | | | | |
| その他(得意先等) | | | | | |
| その他(得意先等) | | | | | |

※新技術活用計画書の様式はNETISのホームページの活用効果調査入力システムからダウンロード出来ます。